

受賞名：読売新聞社賞

タイトル：「ありがとう。山門さん。」

氏名：西田 依佳

小学校名：三重県 津市立川口小学校 三年

わたしの町のたよりになるおまわりさんは山門さんです。山門さんは今年三月に、新しくわたしたちの川口地区に来てくれました。さいしょはどんなおまわりさんかなと思っていたけれど、みんなの事をよく考えてくれるやさしいおまわりさんです。

わたしの登校中、山門さんは二か所で立って見まもってくれます。一か所目はと中の横だん歩道。わたしたちをぶじにわたすとすぐにい動して、二か所目の学校の入口でむかえ入れてくれます。しかも毎日、

「おはようございます。」

と言ってくれて、とてもうれしいです。今日も一日がんばろうという気分になります。

学校が休みの日には、パトカーでパトロールの音楽をながしながら、近所をパトロールしてくれています。その音楽が聞こえると、妹やお母さんと手をふりに外へ出ます。山門さんはわたしたちに気付くと、笑顔でけいれいしたり手をふったりしてくれます。わたしはパトロールしてもらえてとてもうれしいし、悪い事をする人がへると思うので、安心感があってホッとします。

ある日は夜中にわたしの家のポストに「パトロールメモ」を入れてくれました。そのメモには、パトロールした時間やいろんなキャラクターを、山門さんが書いてくれています。今までに七まいもらいましたが、山門さんは絵がとても上手なので、いつかわたしも教えてもらいたいと思っています。

またある時は、近くで事けんがあったと知らせに来てくれました。山門さんからいろんなじょうほうをもらったから、うちも気を付けようという気になれました。

交通安全に気を付けたり、事けんにまきこまれる事なく毎日安心してすごせているのも、山門さんのおかげだと感しゃしています。

「ありがとう。山門さん。」